

新会員紹介 NEW!

坂井市農業委員 南出直美さん

住所／坂井町田島5-8
問合せ／090-2032-3194



食育の基本は家庭から。健康な体づくりのお手伝いとして、減塩梅干しの販売や、梅レシビの紹介をしています。

大関居場所づくり ～みんないっしょに～

住所／坂井町東12-5-1(大関コミュニティセンター)
問合せ／0776-72-1811(虎尾代表)

昨年より立ち上げた、「食を通じて住民が助け合える関係づくり」を目的に本年度から毎月1回子供食堂として活動しています。今は、弁当の配布のみですが、早く～みんないっしょに～食事ができる日を楽しみに頑張っています。

えがお子ども食堂の会

住所／丸岡町西里丸岡12-9-3
(丸岡バスターミナル交流センター)
問合せ／090-2371-8991(山本代表)

『みんなの居場所づくり』として、えがお子ども食堂が設立されて、4年目になります。子どもを中心に、家族みんなで楽しい事ができたいですね。



坂井木部児童館

住所／坂井町高柳117-11
問合せ／0776-72-3388

昨年度より、子どもたちによる、種植えから刈取り、味噌づくりまで一貫して行う「大豆プロジェクト」を続けています。子どもたちが大人になっても記憶に残るよう、これからも活動を続けていきたいです。



ふれあい食堂「きべ丸」

住所／坂井町高柳117-9(坂井木部コミュニティセンター)
問合せ／0776-72-0007

食事を通して子どもたちをはじめ区民の交流の場として、坂井木部まち協が令和2年8月に設立し、現在は隔月1回の頻度で実施しています。



坂井市食育市民ネットワーク 会員募集

坂井市食育市民ネットワークでは、新規会員を随時募集しています。坂井市内で食育活動に取り組んでいる個人・団体は、ぜひ会員登録をお願いします。

役員・運営委員名簿

役員・運営委員	氏名	所属団体	役員・運営委員	氏名	所属団体
会長	正藤 露子	さかい男女共同参画ネットワーク	運営委員	長谷川 まゆみ	JA福井県女性部坂井支部
副会長	南出 直美	坂井市農業委員	運営委員	井上 小佑里	高柳小学校
副会長	文殊 康明	認定こども園 大関保育園	運営委員	釣部 裕	いなす市運営協議会
運営委員	宮下 洋一	磯部コミュニティセンター	運営委員	清島 純子	坂井市商工会
運営委員	石塚 雅章	介護老人福祉施設 長寿園	運営委員	西 初恵	坂井市食生活改善推進員会
運営委員	武川 ひろみ	坂井木部地区まちづくり協議会	運営委員	長谷川 マチエ	食育ボランティア
運営委員	後藤 勝日光	坂井市健康サポーター	運営委員	徳田 由美	春江西幼稚園

会員名簿

JA福井県坂井幹支店	福井県民生活協同組合 ハーツはるえ	高柳生活学校	鳴鹿まちづくり推進協議会	すずらん保育園
JA福井県咲青壮年部坂井地区協議会	アル・プラザ アミ	JA福井県 介護センター はなさき	たかむくのまちづくり協議会	坂井松涛こども園
JA福井県咲青壮年部三国地区協議会	株式会社 フード三国	特別養護老人ホーム ガーデンハイツ春江	たかむくの郷づくり協議会	坂井市内公立保育園・幼稚園・こども園 16園
JA福井県咲青壮年部丸岡地区協議会	福井県農業協同組合農産物直売所ゆりいち	介護老人福祉施設 長寿園	城のまちまちづくり協議会	福井県民生活協同組合ハーツぎざはるえ
JA福井県女性部坂井支部坂井地区	有限会社 アグリ・エス・ケー	介護老人福祉施設 豊楽園	のうねの郷づくり推進協議会	坂井市内公立子育て支援センター 3施設
JA福井県女性部坂井支部丸岡地区	飛田 俊朗	地域密着型介護老人福祉施設 瀧池野	春江中部まちづくり協議会	坂井木部児童館
JA福井県女性部坂井支部三国地区	秋元 豊	社会福祉法人 白女林	春江東部地区まちづくり協議会	坂井市内小学校 19校
JA福井県女性部坂井支部はるえ地区	佐藤 岳之	くらしの会	春江西部地区まちづくり協議会	坂井市内中学校 5校
いなす市運営協議会	増江 正浩	野菜ソムリエコミュニティ福井 坂井ブロック	大石地区まちづくり協議会	三国学校給食センター
坂井市商工会	松下 陽一	蕎麦工房・お仙	坂井木部地区まちづくり協議会	春江坂井学校給食センター
スマイルネットワークさかい	西端 和雄	株式会社UACJ福井製造所	坂井市内コミュニティセンター 26施設	福井県立坂井高等学校
輪花菜グループ	春江鉄人クラブ	坂井市三国病院	米納津保育所	坂井市消費者団体連絡協議会
株式会社三国屋	三国母親クラブ	大関居場所づくり～みんないっしょに～	三国松涛こども園	さかい男女共同参画ネットワーク
農商	ガールスカウト福井第20団	えがお子ども食堂の会	認定こども園三国ひかり	坂井市赤十字奉仕団
三里浜特産農業協同組合	ガールスカウト福井第17団	ふれあい食堂「きべ丸」	つばみ保育園	坂井市食生活改善推進員会
有限会社谷口屋	坂井市社会福祉協議会	長谷川 マチエ	もみじ保育園	坂井市母子保健推進員会
ファーム・イシツカ	(株)角谷自動車	村田 勲	まごころ認定こども園	坂井市健康サポーター
なばたけ農場	男の料理いねす会	田崎 ひろみ	しろの子保育園	坂井市
S'Amuser(サミュゼ)	グループつみ木	武井 ちひろ(坂井市魚食アドバイザー)	わっかこども園	
グリーンファーム姫王	まないた会	南出 直美(坂井市農業委員)	よつば保育園	
三つ星株式会社	坂井食品衛生協会坂井市地区部会(三国)	みくに地区まちづくり協議会	春江みどり保育園	
三国港機船底曳網漁業協同組合	坂井食品衛生協会坂井市地区部会(丸岡)	雄島地区まちづくり協議会	いと勢認定こども園	
底曳婦人部 網元おかみ会	坂井食品衛生協会坂井市地区部会(春江)	新保地区まちづくり協議会	春江ゆり保育園	
福井県畜産試験場	坂井食品衛生協会坂井市地区部会(坂井)	磯部地区まちづくり協議会	認定こども園 大関保育園	

(全178団体)R4.3.1現在

「食」でつなげよう ひとの絆 地域の絆

食育 SYOKUIKU NETWORK NEWS Vol.8

令和4年3月発行
坂井市食育市民ネットワーク

[坂井市食育市民ネットワークとは]

食に関心のある個人や団体等が、食育活動を通してつながり(ネットワーク)をもつ場です。お互いに学び、協力し合い、楽しみながら食育活動を広めています。

CONTENTS

会長挨拶	01
ネットワーク活動	02
「食」に関するアンケート結果	03
ネットワーク会員活動	03
新会員紹介・ネットワーク会員募集	04
会員名簿	04

1. 地区研修会(食生活改善推進員)
2. 葉っぱ寿司講座(浜四郷コミュニティセンター)
3. 郷土料理講習会(JA福井県女性部坂井支部はるえ地区)
4. 食育パネル展
5. サツマイモを洗っている様子(春江西幼稚園)
6. そら豆の皮むき(認定こども園 大関保育園)
7. 地場産給食(春江坂井学校給食センター)
8. お弁当作り(大関居場所づくり～みんないっしょに～)
9. 食育市民ネットワーク運営委員会



「いただきます」
「ごちそうさま」を大切に
坂井市食育市民ネットワーク会長
正藤 露子

「いただきます」「ごちそうさま」は日本の文化といえる食事の挨拶です。では今一度その意味を考えてみましょう。「いただきます」は動植物の命をいただき、自分の命をつなぐことへの感謝の言葉です。ですから、食べ物を粗末にすることは、他の命を



粗末にすることにつながります。「ごちそうさま」は漢字で書くと「御馳走様」。馳走は走りまわるといって、食事でもてなすために奔走する様子を表しています。大変な思いをして生産してくれた人、料理を作ってくれた人などへの感謝の言葉です。意味を知って、食事をするときは家族一緒に言えるといいですね。

さて、今回のネットワーク通信は中学生とその保護者をメインに作成しました。一生で最も栄養を多く必要としているこの時期、バランスの良い食事で健やかな体を作り、脳の働きを活発にしましょう。車もガソリンを入れなければ走りません。朝食をしっかり食べて一日のスタートを大切にしてください。

ネットワーク活動

全体交流会

令和3年11月28日開催
坂井市役所多目的大ホール

「コロナ禍でも食を楽しむ工夫」をテーマにパネルディスカッションを行い、その後、講演会を行いました。参加者からは、「コロナ禍での工夫された各団体の活動内容がわかり、今後の活動の参考になった」「交流会に参加しなければ知らないままだった。参加してよかった」等の感想がありました。



事例発表①

「大豆プロジェクト」

坂井木部児童館 武川ひろみ氏

子どもたちの放課後活動に携わる中で、地域全体で子どもの健全育成に取り組めるような活動が出来たらと心がけています。昨年より、地域の方々やまちづくり協議会の助けをかり、大豆栽培をはじめました。作業に取り組む子どもたちの生き生きとした表情にこのプロジェクトの意義を感じています。

事例発表②

「郷土料理レシピの発刊 ～伝えたい!ふるさと坂井の味～」

JA福井県女性部坂井支部 長谷川まゆみ氏

JA福井県女性部坂井支部は、地域とのつながりを大切に、「食」や「農」に関する活動を通じ、組織育成と仲間づくりに楽しく取り組んでいます。昨年からのコロナ禍では交流・活動の制限もありましたが、次世代に繋げたい郷土料理のレシピ集発刊では、組織の力と仲間の一体感の重要性を感じています。

事例発表③

「コロナ禍での食事の楽しみ」

介護老人福祉施設 長寿園 石塚雅章氏

法人理念の「一大家族」として、ともに幸せな生活をモットーに、安心・安全・美味しさ、そして季節の感じられる食事の提供を心がけています。高齢者の場合には、今までの経験や食事の嗜好などちょっとした変化で食べられなくなることもあります。日々「食べる」ことへの取り組みを行っています。

講演：「新たな日常に対応した『食』」
講師：仁愛女子短期大学 生活科学学科
教授 牧野みゆき先生

コロナ禍の巣ごもり需要の高まりから、家庭での食を見直すよい機会であり、今こそ積極的なアクションが必要で、従来の方法プラスICT・デジタルツールの活用が大切です。また、このような交流会を通して、現状や新たな発想などの情報を共有して、食育活動に結びつけましょうと話されました。



総会

令和3年6月19日開催
坂井市役所多目的大ホール

前年度の事業報告と今年度の事業計画について決議しました。続いての全体研修会では、越前市「みんなの食堂」実行委員長 野尻富美氏による『「地域で暮らす」「地域で育つ」を食をきっかけに地域で支える』と題した講演会を行いました。野尻氏は、「みんなで一緒に食べることで、つながり、人間関係が広がっていく」と話されました。



食の応援隊について

食の応援隊は、料理講習、農産物の栽培体験、食品の加工体験など、食について学びたいという各団体等に講師を派遣して食育活動を支援する活動です。

- 子どもたちに楽しく食育を教えてほしい
- 親子で料理に挑戦してみたい!!
- 収穫体験がしたい!

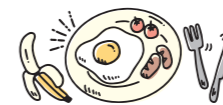
食の応援隊 (坂井市食育市民ネットワーク)

- 親子料理教室
- 生産体験
- 郷土料理教室
- 加工体験
- 施設見学

申し込みの際の注意点
坂井市民5人以上の活動が対象 坂井市内の活動であること

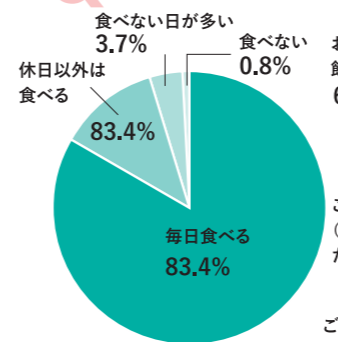
「食」に関するアンケート結果

対象者 坂井市 (中学1年～3年生)

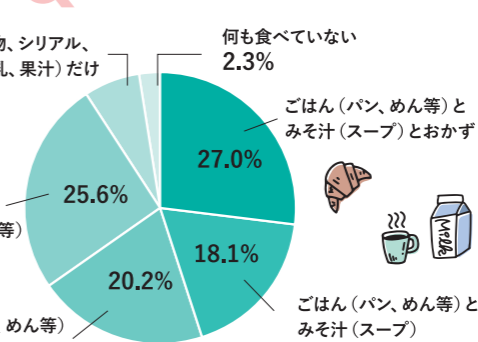


栄養教諭よりコメント

Q 朝ごはんを食べるか



Q 朝ごはんは何を食べてきたか



福井県教育庁保健体育課 「食」に関するアンケート調査結果より

朝ごはんの重要性について

長畝小学校
長谷川 珠美
栄養教諭



毎日食べる「朝食習慣」が、心の健康や高い学力・体力と関係していることも明らかになっています。もちろん、成長期に必要な栄養量を確保するため、日々の生活リズムを整えるためにも朝食は欠かせません。

ネットワーク会員活動

丸岡南中学校

住所/丸岡町高瀬第15号2番地
問合せ先/0776-67-7722

今年本校では、1年生がふるさと地域学習として坂井市の4町に分かれ、各町の歴史や自然、観光、農業、食についての魅力を探るフィールドワークを行いました。その際、昼食に各町にゆかりのある物を食し、食の魅力を実感することができました。そして、ポスターやパンフレット、CMにまとめ多くの人に坂井市の魅力を発信しました。

地域学習のまとめ



三国の新鮮なお刺身弁当～!



JAや道の駅を見学

ふるさと地域学習



坂井高等学校

住所/坂井町宮領57-5
問合せ先/0776-66-0268

今年度新たにブランド化された「ふくい甘えび」を使って、生活デザインコースの3年生が坂井市のSea級グルメを開発しました。開発に向けて三国湊で「ふくい甘えび」に携わる方々の話を聞き、美味しく食べる秘訣を教えてもらいました。また、甘えびの他にも地元の食材を使うことで、坂井市を盛り上げられるような料理を考えました。



甘えびについて指導を受けている様子

試作品調理風景

坂井市長の試食会



えびのおいしさ「ぎゅっと」巾着煮

エビスサンド

エビカツバーガー